



理事長就任ご挨拶

月岡 亮

この度、六月二十五日の理事会において、理事長に選任されました月岡でございます。利用者の皆様、ご家族、関係者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。また地域の皆様をはじめ、多くの企業や関係機関のご理解、ご協力をいただきながら、法人運営ができていくことに心から感謝申し上げます。



月岡 亮

前任の早川理事長は、飾らない人柄で、近年における社会福祉法人を取り巻く環境や社会福祉法の

改正等、社会福祉事業に対する社会の見方など厳しい状況の中での法人経営に尽力いただき、私自身も早川前理事長の方針を継承し、様々な問題解決に向け取り組んでいく所存です。

私は、静岡県伊東市で生まれ、育ちは東京です。「東京都町田通勤寮」が東京都から受託し運営がスタートした一九九五年（平成七年）につるかわ学園（入所施設）に入職しました。

重度の方々が生活するつるかわ学園では、支援員、事務員、管理職を務め、障害の重たい方々への生活・余暇支援、日中活動、職員の給与計算や請求事務、施設管理業務等様々な経験させていただきました。この四月からは町田通勤寮寮長も務めております。

同じ悩みを持った当時の親たちの手によって、この多摩丘陵の自然に囲まれた現在の地（町田市真光寺）に、児童福祉法に基づく精神薄弱児施設「かねこ学園」が開

社会福祉法人つるかわ学園
つるかわ学園を支える会
☎195-0051
東京都町田市真光寺町
186番地
TEL (042) 735-2220
FAX (042) 736-6374
HP:tsurukawa-gakuen.com

設されたのは昭和三十五年五月。（定員三十五名）当時は木造平屋建てで貧しいものでしたが、それでも感動の出発だったと思います。その後、昭和四十四年に「かねこ学園」から「つるかわ学園」に変更となり、昭和四十七年に中央競馬社会福祉財団の助成を受けて鉄筋コンクリート二階建の園舎に改築しました。

新しい建物から学校へ通い、施設の行事・イベントを楽しみ、日々生活する利用者ですが、ご家族は、いつか大人になる年齢を予測して、「成人施設」への移行を強く期待しておりました。平成に入り、十八歳以上（中には三十歳以上の方も）が八割を超えその期待は益々高まりました。その願望を叶えるべく、具体的な計画書（施設整備計画書）を東京都に提出したのが平成三年七月。

そして三つ目となる現在の建物（つるかわ学園）は平成六年、定員を四十五名に増やし、児童施設を廃止、成人施設として新たにスタートしました。

現在は、入所施設（定員四十五名／就労系定員十五名）、通勤寮（定員三十名）、グループホーム（軽度型定員七十七名・重度型定員十六名）、就労・生活支援センター、相談支援センターの六事業を町田市

内で運営しております。

私は、この歴史の中で二十八年を過ごしております。かつて、児童施設だった時代から、大人になり高齢になっても、さらに学園で暮らしている方もおります。いつの時代でも、そこで暮らす・サービスを利用される利用者の皆さんが、ほんとうに「ここを選んで良かった」と思える実感をいただくために、尽くす努力が必要です。法人職員一同が一丸となり「チーム福祉」として取り組み、分け隔てない社会、助け合う社会を希求する理念を大切にしつつ、今できることをこれからも実践していきます。



開設当時の学園

任期の満了に伴い新たな役員等が
選任されました(順不同)

【役員】

● 評議員

大久保悦子 大高 弘之

岡本 明博 春日 俊介

佐々木徹也 田中 公彦

安田 喜人

● 理事長

月岡 亮

● 理事

植村 義秀 白木 英子

大矢 浩之 芹澤 政人

丸山 文弘

● 監事

高橋 健司 豊田 泰三

【実施事業】

● 障害者支援施設つるかわ学園

①施設入所支援…定員四十五名

②生活介護…定員六十名

③短期入所事業…定員四名

④就労移行支援事業…定員六名

⑤自立訓練事業…定員九名

(1)事業開始年月日…
平成二十二年四月一日

(2)管理者…芹澤 政人

● 町田通動寮(宿泊型自立訓練事業)

定員二十名

(1)事業開始年月日…
平成七年四月一日

(2)管理者…月岡 亮

● グループホーム

(共同生活援助事業)

①鶴川地区…定員十六名

(二ユニット)

②成瀬地区…定員七十七名

(十五ユニット)

(1)事業開始年月日…

①平成二十年十月一日

②平成九年十月一日

(2)管理者…①外川 珠枝(鶴川地区)

②大矢 浩之(成瀬地区)

● 町田市障がい者就労・生活支援センターりんく

(区市町村就労支援事業)

(1)事業開始年月日…

平成二十一年四月一日

(2)管理者…藤本 英理子

● つるかわ学園

地域生活援助センターフクシア

(法人単独事業)

(1)事業開始年月日…

平成二十年五月一日

(2)管理者…大矢 浩之

● つるかわ学園

相談支援センターニコニコ

(指定特定相談支援事業)

(1)事業開始年月日…

平成二十六年六月一日

(2)管理者…近藤 洋



各事業所より



【つるかわ学園】

つるかわ学園における
感染症対策と余暇支援

施設長 芹澤 政人

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和五年五月八日から「5類感染症」になりました。つるかわ学園ではその約一ヶ月前、三回目のクラスターが発生しました。これまでの経験から、初動やゾーニング等職員の協力で重症化する利用者、職員は出ずに終息し、心からホッとしたところです。

障害者支援施設や高齢者施設等は、重症化リスクが高い方が多く生活することで重症化リスクへの配慮が必要であることから、当施設では引き下げ後の対策は大きく変わっていません。引き下げ前から継続実施している東京都の「障害者支援施設等重点的PCR検査(職員)」の他、「体調不安や症状があるときは医療機関を受診」「マスクの着用」「3密を避ける。換気」「手洗い手指消毒」「適度な運動と食事」等を職員全体で共有し支援しております。しかし、これまで制限することが多かった外出では、感染対策を講じながらも段階を踏み行動範囲は広がり、今では旅行

も実施しています。長期化するコロナ禍、余暇も含めたサービス提供の為に感染症対策と施設の体制整備を継続し、利用者の安心した暮らしを守っていけるよう努めていきます。

支援センター ソラール
サービス管理責任者・主任

武智 里峰

今年度、支援センター ソラール(以下ソラール)が移転され、「つるかわ学園」の一機能としてサービス提供する事業となりました。法人内でより連携を深め、様々な視点でより良い支援が出来ればと思います。

ところで、皆さん、ソラールがどのような事業所かご存じでしょうか？

支援センター ソラールについて、今以上に、ご理解を深めて頂きたいと思いますので、簡単に説明させて頂きたいと思っております。

平成二十一年就労移行支援事業開始、その後、利用者層の変化に合わせて、令和二年就労移行支援事業に加えて自立訓練(生活訓練)事業をスタートしました。そして令和五年四月より、「つるかわ学園 支援センター ソラール」としての運営を開始しました。

「ソラールのコンセプト」として
：自立訓練(生活訓練)では「通

「居場所作り」をテーマに、特に知的・発達障がい等をお持ちの方に対し、特性に合った形で「社会生活を大きな混乱なく送って行けるための『ライフスキル』を職員と一緒に習得して行けるようサポートしています。

就労移行支援では、疑似職場（職場に近い環境）で日々清掃、事務補助、農作業等の幅広い職業体験をすること、そして、職場に近い環境で『ライフスキルの維持・ソフスキルを日々の訓練で自然と習慣化する』をテーマに取組んでいます。

また、どちらのサービスについても個別性の高い、手厚い支援を行っています。（例：通所同行等）福祉サービスの利用期間「二年」という枠の中で、個々の対応、次の生活の場につなげるというのとはかなりハードで責任という意味でも、結果を求められる職種でもありません。知識・経験は素より視野・思考を広め、個々の対応に臨む事にはなりますが、とてもやりがいのある職種である事は間違いありません。

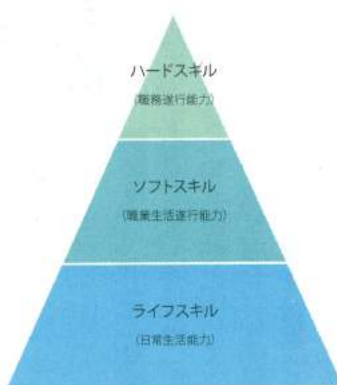
地域密着に一番近いソラール、ある意味、『法人の看板』でもあるという意識を常に高く持ちつつ、支援者一体となって対応させて頂きたいと考えます。今後ともよろしくお願いたします。

○ライフスキル
おとなになって日常的に行う活動。毎日、1週間、1ヶ月、1年等、一人で生活したり、働き始めたときに必要となるスキル

○ソフトスキル
職場のルールやマナーを守る等、上司や同僚と良好な関係を築き易くするための対人関係スキル

○ハードスキル
仕事そのものをするためのスキル

※当センターでは梅永雄二先生の文献を参考に取組みを行っており、WHOにおけるライフスキルとは異なります



参考書籍『発達障害のこともたちのためのお仕事図』
監修 梅永 雄二氏

【町田通勤寮】
支援員 河口 憲明

六月十一日（日）、保健講座を開催しました。利用者さんには講座で、正しい手洗い、飲み物の取り扱い、食品ラベルの見方、消費期限と賞味期限の違いについて学習してもらいました。手洗いでは、手洗いチェッカーを使用し、利用者さんの洗い残しを確認し、正しい

い手洗いを実践しました。飲み物では、コップに移して飲料を飲むこと、開封したその日のうちに飲み切ることを学習しました。食品ラベルでは、品質や栄養成分、アレルギー物質の意味や見方を確認しました。期限では、消費と賞味の違いを正しく理解し、食品ごとに期限後の品質劣化について考察し、理解を深めました。利用者さんにとって、目から鱗の時間となりました。

通勤寮では、身だしなみ講座や就労講座、防災講座など、利用者さんの自立に必要な講座を適宜開催しています。就労の安定を図りながら、自分のことを知り、将来の生活と目標を考えて地域社会で自立した生活が送れるよう、利用者さんと日々訓練を行っています。

あじさい祭り
つるかわ学園
日中活動担当



「レクの日」を改め「あじさい祭り」を六月一日に行いました。午後からの開催でしたが、昼食は普段とは違うメニューで利用者さんも食事を楽しまれていました。通所されている利用者さんに開会式のご挨拶をお願いし、行事開始となりました。まず初めに「紫陽花」のイラストが描かれたカードを探

す宝探しゲームを行いました。各階に隠されたカードを誰よりも先に見つけ出そうと張り切られている利用者さんもいました。次に見つけてきた紫陽花カードと花紙の紫陽花を交換し、紫陽花の葉が貼られている模造紙の好きな場所に貼ってもらいました。紫陽花を貼り終えた後はパン取り競争の参加券と交換し、パン取り競争に参加しました。行事の中でも特に楽しみにされている利用者さんも多く、皆さん目を輝かせていました。



新人職員紹介

つるかわ学園

支援スタッフ 藤原 彩音

四月より入職いたしました藤原彩音と申します、よろしくお願ひします！趣味特技どちらもダンスです。

私は保育系の仕事に就きたいと思い、駒沢女子短期大学に入学いたしました。幼い頃から兄弟以外にも周りに乳幼児がいて面倒を見ていたことがきっかけで保育関連に興味を持ちました。在学中には幼稚園、保育園、施設での三種類の実習をそれぞれ二回ずつ行いましたが、その中でも施設実習がとても楽しくやりがいを持って行うことができ、興味がわきました。施設の職員になりたいと思った大きなきっかけは実習先の施設の職員さんから「幼稚園で三年子どもと過ごすのもとても楽しいけれど施設では利用者さんのこれからの人生に長く濃く関わってほしい」という言葉を聞き、とても素敵なお仕事だなと強く感じた事でした。さらに、つるかわ学園の地域貢献で行っていたトランポリンやバスケットボールの貸し出しを幼い頃から利用させて頂いていて職員と利用者さん、学園の温かい雰囲気を実際に見て知っていたことから施設でのお仕事はつるかわ学園でしたいと強く思い、今ではそれが叶いました。

障害者の方とは実習以外に身近にいた友人との関わりや高校時代祖母

の職場で行ったボランティア等で関わった事があったので恐怖心や戸惑いなどはなく常に楽しさを感じながら支援をすることが出来ました。四月から「ボランティア」ではなく「支援員」として働いていて様々な場面でボランティアよりさらに難しいと感じる事は沢山ありますが、大好きな利用者さんとの思い出や笑顔をモチベーションにして毎日楽しみなから支援をしています。

なかなか上手く行かず悩むこともありませんが、これからも明るく元気に暖かい先輩方・利用者さんと過して行きたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

町田通勤寮

調理員 平井 海輔

六月より町田通勤寮の調理員に配属になりました、平井海輔と申します。私は施設給食や飲食店などの経験があり、その経験を發揮して幅広く活躍できるように頑張っています。利用者の方々に早速名前を覚えていただき「おいしかったです」「頑張ってください」など声援をいただき、とてもやりがいを感じています。

利用者の方々の毎日を食で支える為、問題意識を持って根拠のある仕事に努めてまいります。宜しくお願ひ致します。



「つるかわ学園ふれあいまつり」中止のお知らせ

地域行事の「つるかわ学園ふれあいまつり」を、十月十五日(日)に予定しておりましたが、今年度につきましても、新型コロナウイルスの影響を考慮して昨年同様中止いたします。

これまでも地域の方より、「今年度は開催されますか」「福祉バザーに品物を寄付したい」等のご連絡をいただいておりますが、つるかわ学園におきましては、今年度に入りクラスターが発生した事もあり、このように判断しておりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

来年度の開催につきましては、感染症の状況等を踏まえまして、改めて検討する予定です。

今後とも、ご協力のほどよろしくお願い致します。

担当 田中 良典

つるかわ学園ホームページ

日常のようす、行事のお知らせ等がご覧になれます

アドレスはこちら!!
HP: tsurukawa-gakuen.com



つるかわ学園を支える会のご案内

「支える会」について

国家的財政困難と世情不安定の中にあつて、施設も苦しい状況に置かれています。私達は私達なりに苦しさの中にあつても福祉を支える者として努力を惜しまず頑張っています。今一步の力の支えをこうした形で求めるのは本心に心苦しいのですが、市民の皆様の小さな善意はやがて大きな力を生む礎となる事をお約束します。

どうか「つるかわ学園」を支える会にご入会し力を添えてくださいませようお願ひ申しあげます。

会費

「つるかわ学園を支える会」の会費は、一〇千額三千元ですが、ひとりで何回か入っていたくことを歓迎、お願ひしております。

会員の方々は、毎年三回発行するつるかわ学園の機関誌「つるかわ」をお送りし、学園の様子を続けてご報告するとともに、この人達の幸せを願う者同志としての親交を深めます。

入会方法

入会してくださる方は、振込用紙を学園にご請求下さい。

振替口座番号

〇〇一一〇七一一九四〇二九

加入者

社会福祉法人 つるかわ学園

